

農林交流センターニュース

第415号
2008.5.23

発行：農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波事務所 農林交流センター
〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel. 029-838-7129

—国際交流セミナー— (参加費無料) 公用語：英語

新しい養蜂の脅威ノゼマ原虫 *Nosema ceranae*

Nosema ceranae, a new threat to European honey bees, *Apis mellifera*

平成20年6月2日(月) 15:00-16:30

場 所：農林交流センター（つくば市観音台2-1-9）
主 催：農研機構畜産草地研究所
農林交流センター（農林水産技術会議事務局筑波事務所）
講 師：Dr. Yanping Chen（陈彦平）
アメリカ農務省農業研究サービスベルツビル農業研究センターミツバチラボ



開催趣旨

偏性細胞内寄生体である微孢子虫（Microsporidia）に属すノゼマ原虫は、ミツバチに重篤な病気を引き起こします。セイヨウミツバチでノゼマ病を引き起こす *Nosema apis* に対し、*N. ceranae* は、アジアに分布するトウヨウミツバチで発見されたノゼマ原虫です。*N. ceranae* は、セイヨウミツバチにも感染し、最近その分布を拡大していますが、アメリカには分布していないと考えられていました。しかし、蜂群崩壊症候群（Colony Collapse Disorder: CCD）の原因調査の中で、1995年から2007年までアメリカ12州で集められたセイヨウミツバチサンプルを再解析した結果、*N. apis* よりむしろ *N. ceranae* に感染した個体が多く発見されました。

ノゼマ原虫の細胞に対する細胞指向性は極めて異なり、特に *N. apis* が腸上皮に殆ど限定されるのに対し、*N. ceranae* は腸以外の多くの器官での感染が確認されています。また、系統解析の結果 *N. ceranae* は *N. apis* よりスズメバチの寄生虫である *N. vespula* に近縁であることが明らかとなり、*N. ceranae* は極めて重要なミツバチの脅威であることが明白になってきたため、感染に関して様々な観点から勢力的に研究が開始されています。

今回のセミナーではこの原虫に関する最新の研究結果報告とともに、CCDの原因解明の進捗状況についてもお話頂く予定です。

★問い合わせ先★

農林水産技術会議事務局 筑波事務所 研究交流課 交流係 前原、風間
Tel: 029-838-7129 Fax: 029-838-7131 E-mail: koryu@cc.affrc.go.jp

農林交流センターHP移転のお知らせ

農林水産研究情報総合案内
(<http://www.affrc.go.jp/ja/>)

筑波農林研究交流センターのホームページは、『農林水産研究情報総合案内』に移転しました。

年間のワークショップ開催予告も掲載していますので、是非一度、『農林水産研究情報総合案内』をご覧ください。

ニュース・イベント

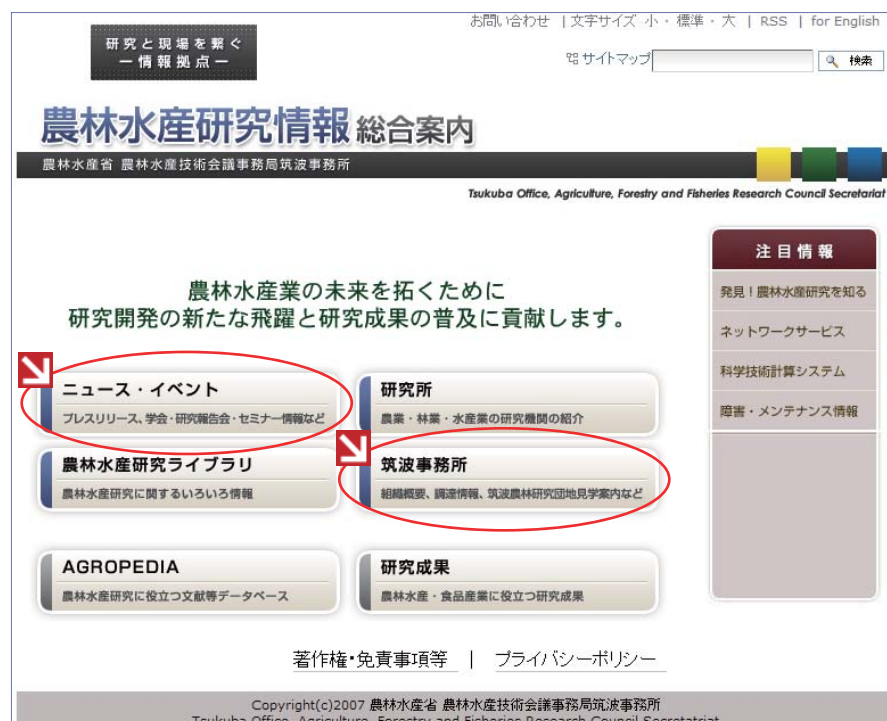
プレスリリース、学会・研究報告会・セミナー情報など

農林交流センターのワークショップ開催予告やニュース等はこちらからご覧いただけます。また、農林水産省関係の試験研究機関等の記者発表資料やイベントも紹介していますのでご活用ください。

筑波事務所

組織概要、調査情報、筑波農林研究団地見学会案内など

農林交流センターの所在地・案内図を【筑波事務所概要 > 所在地・交通案内 > 所在地 > 筑波事務所配置図】から確認することができます。また、筑波事務所の各種情報や筑波農林研究団地の見学会案内についてお知らせしています。



その他、農林水産研究に役立つ情報を掲載していますので、ご活用ください。

